

国語授業シラバス

科目名	単位数(標準単位)	学科・学年・学級
言語文化	2単位	全学科・1年・1～6組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>		
使用教科等	<ul style="list-style-type: none"> ・数研出版「言語文化」 ・数研出版「プレミアムカラー国語便覧」 ・いっずな書店「わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語 330 改訂版」 ・いっずな書店「改訂版これでわかる 明快古典文法」と定着ノート・必修ノート ・尚文出版「構造から読み解く これからの漢文」と定着ノート ・尚文出版「グラusstep 古典(古文・漢文) 1.5」 ・啓隆社「わかる、とける現代文 解法のテクニック 1 (三訂版)」 	学習形態	一斉授業

2 学習計画

学期	月	学習項目(単元名等)	学習内容	評価の観点 評価規準	備考	考查
1 学期	4	オリエンテーション	高校の国語学習について確認する。	[態]意欲的に取り組もうとしている。	1	中間 考查
		宇治拾遺物語 ・児のそら寝 ・絵仏師良秀	古文を読むために必要な文語の決まりや文法を学ぶ。	[知]歴史的仮名遣いの読み方、用言の活用、係り結びの法則、助詞「ば」の用法について理解している。 [思]内容、展開などを的確につかんでいるか。 [態]人々が説話を通して伝えようとした事を粘り強く分析し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	4	
		羅生門	羅生門と今昔物語を読み比べて筆者の意図を探る。	[知]文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 [思]作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [態]積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	5	
5		入門 故事 ・漁夫之利 ・矛盾 ・狐借虎威 ・朝三暮四	漢文を読むために必要な訓読や書き下し文の決まり等を学ぶ。	[知]訓読の基礎、再読文字・助字・置き字の用法が理解できる。 [思]故事が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 [態]故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	4	
		徒然草 ・つれづれなるままに ・丹波に・奥山に 等	随筆を読み、筆者の言いたいことを理解する。	[知]助動詞の意味を区別して口語訳ができるか。 [思]作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容の解釈ができていく。 [態]通読することで作者の人生観について考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	4	

	サラバ!	作品内容をふまえ、人と人との交流において大切なこと大切なことは何か話し合う。	[知]作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [思]作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [態]進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	4		
6	史伝 ・管鮑之交 ・先従先隗始	史伝を読み春秋戦国時代の人々のものの考え方に触れる。	[知]「使役・受身」の句法について理解している。 [思]故事の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。 [態]進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。	4	期末 考查	
	伊勢物語 ・芥川 ・東下り ・筒井筒	歌物語を読み、和歌の内容をふまえ、人物の心理を読み取る。	[知]助詞の意味を区別して口語訳ができる。 [思]作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。 [態]粘り強く地の文と和歌の関係性を読み解き、今までの学習を生かして本文全体を解釈しようとしている。	5		
7	竹取物語 ・なよ竹のかぐや姫 ・天人の迎へ	物語を読み、平安時代の風俗について理解を深める。	[知]敬語の用法に留意して口語訳ができる。 [思]作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。 [態]平安時代の成人の儀式について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	4		
	和歌 ・万葉集 ・古今和歌集 ・新古今和歌集	修辞法を学び、和歌を鑑賞し、自分でも作ってみる。	[知]和歌の修辞法について理解を深めている。 [思]自分の体験や思いが効果的に伝わるよう修辞法を使うなど表現の工夫をしている。 [態]積極的に古典和歌と自分の体験とを結びつけ、短歌を創作しようとしている。	4		
2 学期	8	城の崎にて	作品の内容をふまえ「生と死」に対する自分の考えをまとめる。	[知]文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 [思]作品を読み、筆者が自ら死や動物の死をどのように捉えているかを理解している。 [態]進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	5	中間 考查
	9	枕草子 ・ありがたきもの ・雪のいと高う降りたるを	随筆を読み、平安時代の美意識について理解を深め、エッセイを書いてみる。	[知]当時の中宮・女房たちの宮廷生活について歴史的背景もふまえ理解している。 [思]自分の体験や思いが効果的に伝わるよう表現の工夫をしている。 [態]積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書こうとしている。	4	
		漢詩 ・登鶴鶴楼・静夜思 ・山中問答・涼州詞 ・送元二使安西・山行 ・月夜・登高・八月十五日夜・禁中独直、对月憶元九	漢詩を読み、中国古来の美意識に触れる。	[知]漢詩の形式、対句、押韻などについて理解できている。 [思]古の人々の美意識や感情について歴史的背景に従って読み取ることができる。 [態]由来について諸説ある漢語「葡萄」「琵琶」の語源説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	4	

	10	土佐日記 ・門出 ・帰京	日記文学を読み、本文に関連する古典常識を理解する。	[知]紀貫之の文学史における位置づけ、受領階級の生活について理解している。 [思]作品に表れている古来日本人のものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 [態]旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べ、学習課題に沿って理解を深めようとしている。	5	期末 考查
	11	思想 ・論語 ・孟子	孔子孟子の思想に触れ、普遍的な思想を理解する。	[知]「詠嘆・禁止・疑問(反語)・限定」等の句法が理解できている。 [思]孔子孟子の思想について理解を深めているか。 [態]教材本文の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	4	
	12	平家物語 ・祇園精舎 ・木曾の最期	軍記物語を読み、和漢混濁文を読み味わう。	[知]平安末期の歴史をふまえて武士の生き方、考え方を理解している。 [思]読み取ってことをふまえて日本人の自然観を他民族と対比させながら理解できている。 [態]「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く差異を抽出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	5	
3 学期	1	文章 ・雑説	唐の文章を読み作者の意図について歴史的背景をふまえて考察する。	[知]韓愈・柳宗元が官吏であることから、「科挙」について理解している。 [思]論理的な文章を句法の知識を使って適切に読解できている。 [態]唐代中国の官吏登用制や兵制を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	4	
		小説の読み方	小説(文学的文章)の読解のイメージを掴む。	[知]文学的文章読解のポイントをおさえている [態]文章に印を付ける作業に取り組んでいる。	1	
		小説の読み方(心情理解)	登場人物がおかれている状況に、きっかけとなる出来事が起こることによって、心の動きが生まれることを踏まえ、人物の心情を理解する。	[知]文章中の出来事と登場人物の心情との関係を理解している。 [思]物語の展開に応じて、登場人物の心情の変化を読み取ることができる。	1	
	2	小説の読み方(情景描写)	人物の心境の変化によってまわりの景色の見え方がかわることを理解する。	[知]登場人物の心情変化と情景描写の関係を理解している。 [思]物語の展開に応じて、登場人物の心情が反映された情景描写を読み取ることができる。	1	
		奥の細道 ・序 ・平泉	俳諧紀行文を読み、当時の風俗やものの感じ方に触れる。	[知]俳諧の成立過程を理解している。 [思]平安時代の「和歌」と比較してどのような点で美意識の転換が起きたか考えている。 [態]改作前後の句について粘り強く比較し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	4	
	3					

【評価について】

- ・評価は以下の割合で評価を行います。
- 1・2学期は観点別学習状況「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ3段階(A・B・C)で評価します。
- 学年末は1～3学期の観点別学習状況の評価をふまえて5段階評定(5・4・3・2・1)で評価をつけます。

【学習方法】

- ・授業は各自の予習・授業・復習のサイクルで定着します。必ず予習をして授業に臨むようにして下さい。
- ・古文の場合は、該当作品の古文単語調べ、品詞分解などを事前に行い、現代語訳にも取り組んでおいてください。漢文の場合も、事前に文章を読み、現代語訳に取り組んでください。

【辞書について】

- ・授業の内容に合わせて適宜必要な辞書を準備して授業に臨むようにして下さい。